

平成 27 年度科学研究費若手研究(B)採択

戦前の民間組織による対外的情報発信とその影響:英語版『東洋経済新報』を例として

## 第 2 回研究会

[開催日時]

2015 年 12 月 16 日 (水) 18 時 30 分から 20 時 30 分

[会場]

法政大学市ヶ谷キャンパス九段校舎別館 3 階研究所会議室 6

- 所在地: 東京都千代田区九段北 3-2-3
- JR 線、東京地下鉄線、都営地下鉄線「市ヶ谷」駅、「飯田橋」駅下車

[報告者]

**村井良太** (駒澤大学)

[論題]

## 政党内閣制という経験

## 一自由の基盤としての機能と非常時暫定内閣

### ■ 報告の概要 ■

戦前日本における政党政治の消長について、政党間で政権交代する政党内閣制に注目し、その内実と意義を問います。「憲政常道」と高く評価された一方、「党弊」が崩壊を招いたと批判された政党政治ですが、石橋湛山が政治家を志す 1910 年代から 2.26 事件で失われる 1936 年までを対象に、昭和天皇や市川房枝、町田忠治等様々なアクターを取り上げつつ、自由の基盤としての役割や斎藤・岡田内閣期の変化などに注目しながら経験を振り返ります。

[司会]

**鈴木裕輔** (法政大学)

[参加料]

無料

[主催]

研究代表者・鈴木裕輔 (法政大学)

[後援]

法政大学国際日本学研究所

[参加申込先]

yusuke.suzumura.65@hosei.ac.jp (鈴木裕輔)

科研費  
KAKENHI

HOSEI



# 第

# 2

# 回